



第五十五号 平成二十四年五月一日（火）発行

新会長でスタート

一筆啓上・作左の会総会が、去る四月十四日（土）学区市民ホームで五十名の出席者を迎えて開催されました。この会は平成十一年に発足した会です。で、今年で十四年目になります。

さて、総会では、昨年度の活動が報告され、新しい役員が改選・承認されました。兵藤紀之新会長のあいさつでは、作左のおもしろいの心を地域に定着させ、

地域の歴史や文化を元にした活動を広めていきたいとの話がありました。本年度の活動としては、

「会員の継続と新会員の獲得」、「ウォーク祭りの協賛と作左通信の発行」、「作左ゆかりの地視察旅行」、「ふるさと賞」が提案されました。三年後の平成二十六年度の発行を目指して「ふるさと六ッ美西部写真史の編集」に本格的に取り組むことが承認されま

した。

来賓祝辞では、岡崎市議会議員柵木誠様、六ッ美西部小学校長小田昌男様、あいち三河農協代表理事天野吉伸様から、それぞれこの会の活動に対してお祝いの言葉を頂きました。

引き続き講話がありました。講師は郷土史研究家で前学区市民ホーム事務長の横山茂氏より『ふるさと六ッ美西部写真史編集の現状報告』をして頂く予定でしたが、あいにく投影機の調子が悪く写真史の話は聞くことが出来ませんでした。急きよ「本多作左衛門」の話をしていただきました。作左衛門は徳川家康に仕えた武将ですが、行政能力が優れていた

ので奉行に取り立てられました。鬼作左と呼ばれたように、領民から恐れられました。高札の話などおもしろい逸話をいくつか紹介していただきました。

最後に、懇親会が持たれ、参加者同士の話が弾み、交流を深める事が出来ました。



作左の話をする横山茂氏